

# スタートアップ及びエコシステムプレイヤーへの アンケート調査

---

令和7年11月

東京都スタートアップ戦略推進本部

# 調査概要

## 調査実施概要

### 調査の目的

2022年11月に策定したスタートアップ戦略「Global Innovation with STARTUPS」に基づく、都のこれまでの取組への評価やスタートアップイベントや施策についての情報収集、海外進出等を調査し、今後のスタートアップ施策の基礎資料とする

### 調査対象

スタートアップ、アクセラレータ及びVC等のエコシステムプレイヤー、経済団体、スタートアップに関心がある学生等

### 調査方法

Logoフォームによる調査

### 調査項目

- (1) 都のスタートアップ戦略について
- (2) 都への入札参加について
- (3) 行政のスタートアップ向けイベントや施策の情報収集について
- (4) 海外進出について
- (5) その他

### 調査実施期間

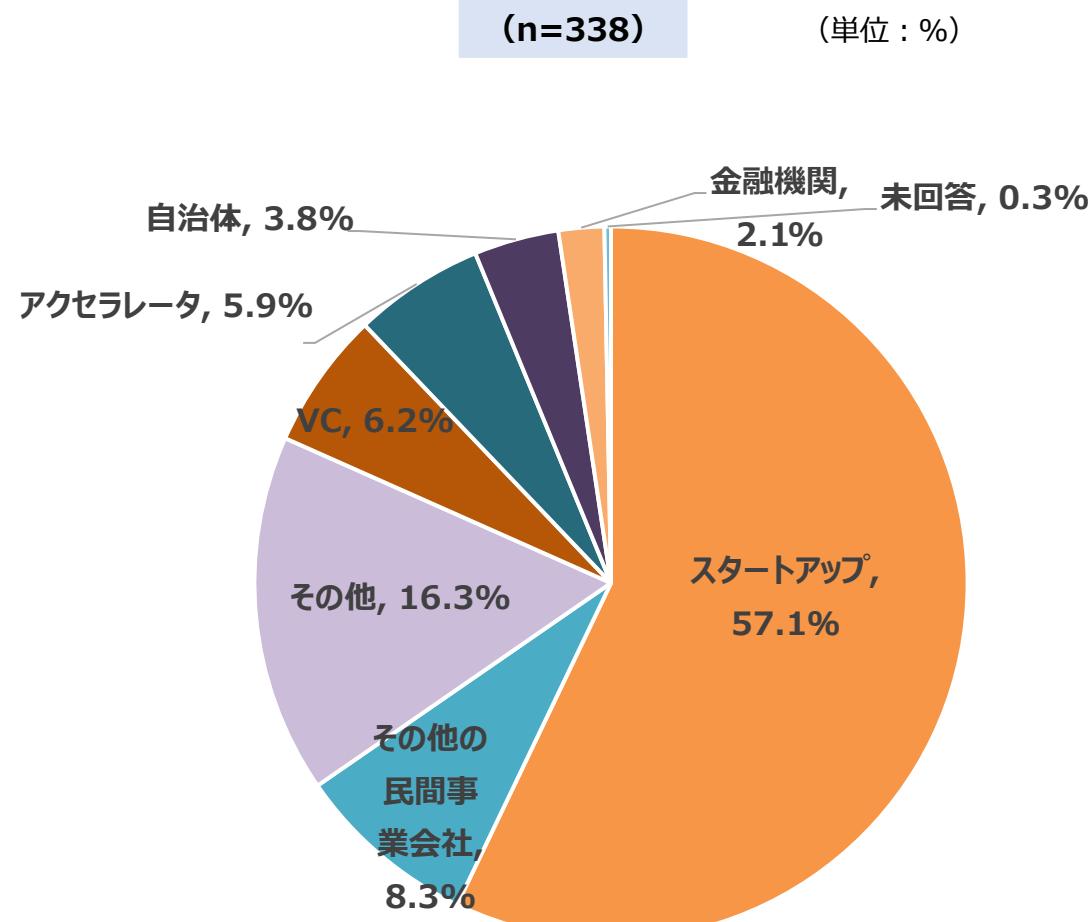
令和7年9月19日～10月26日

### 回収数

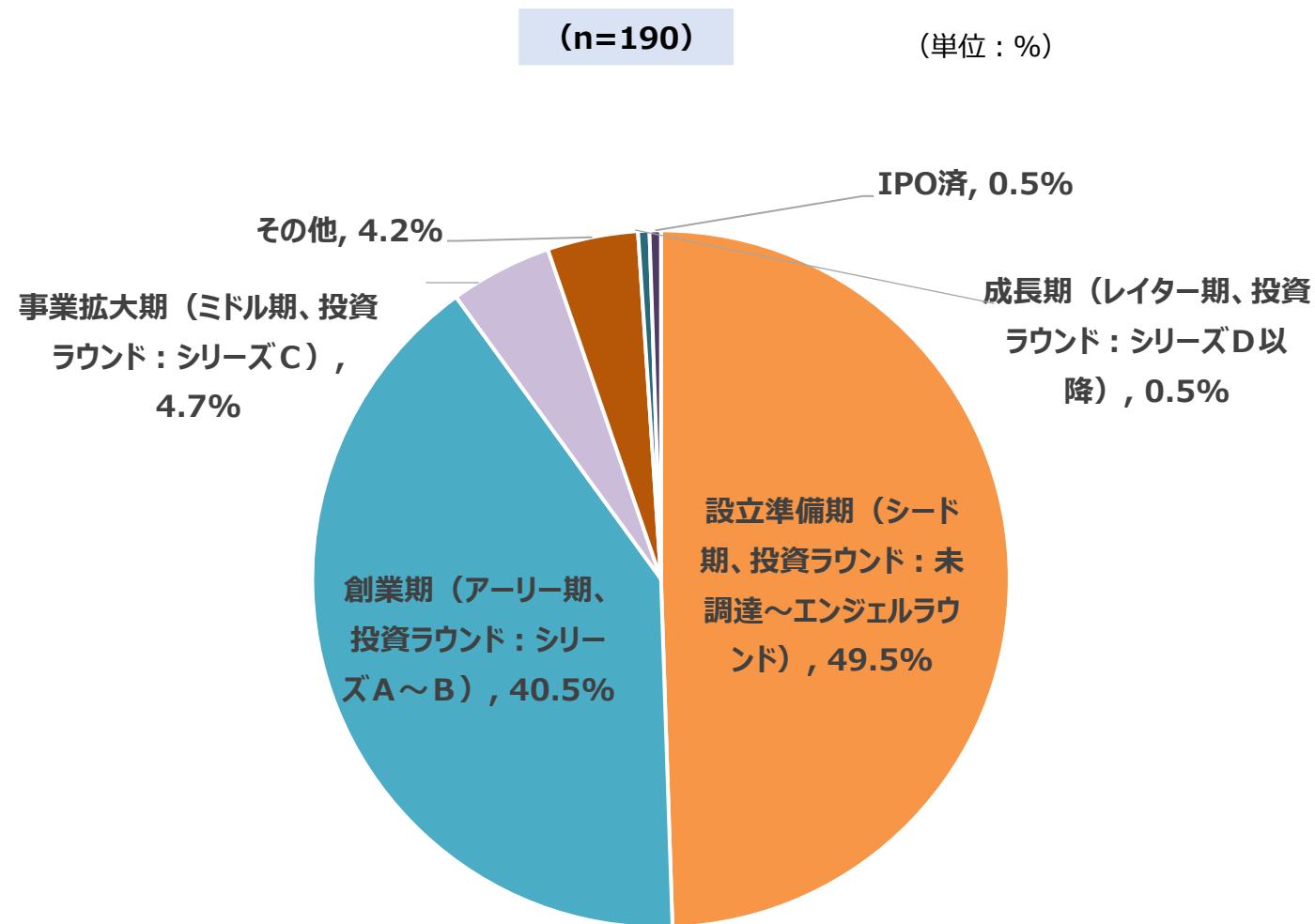
338サンプル（日本語版321、英語版17）

# 回答者属性

Q. 貴社は、スタートアップですか、  
スタートアップの関係者ですか？



Q. 貴社のステージ

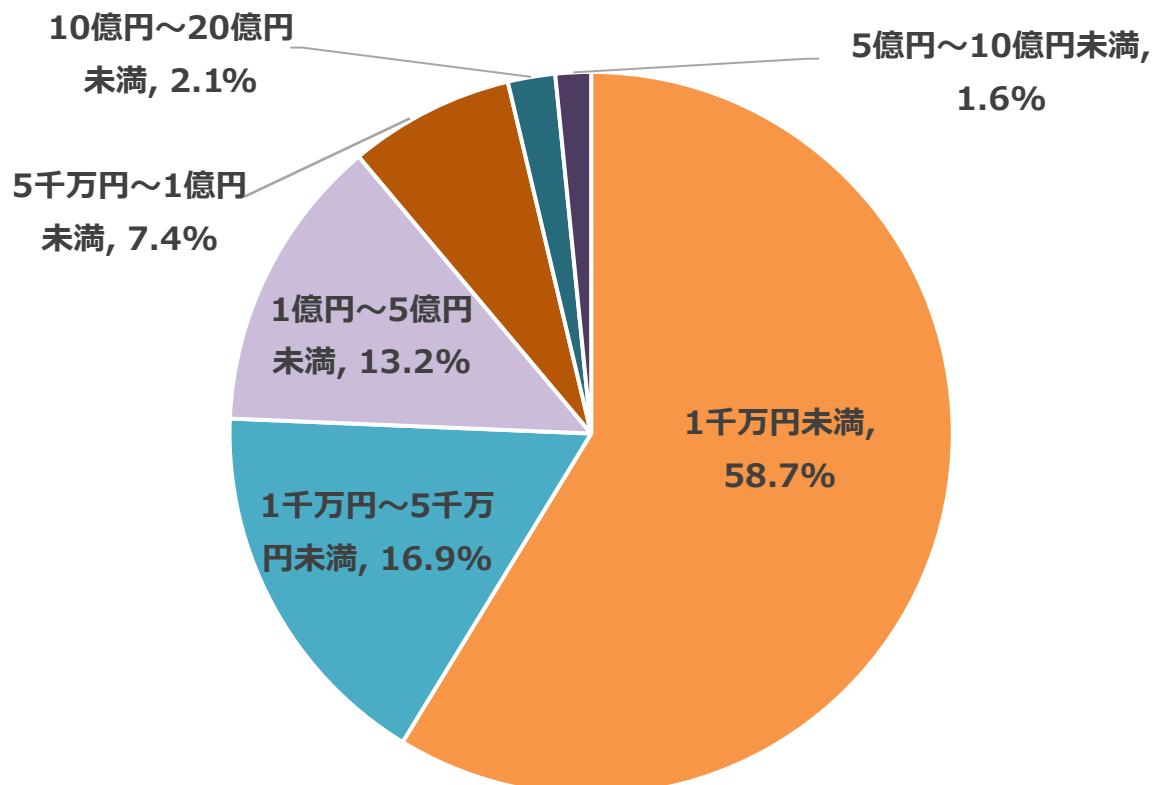


# 回答者属性

Q. 貴社の年間売上

(n=190)

(単位 : %)

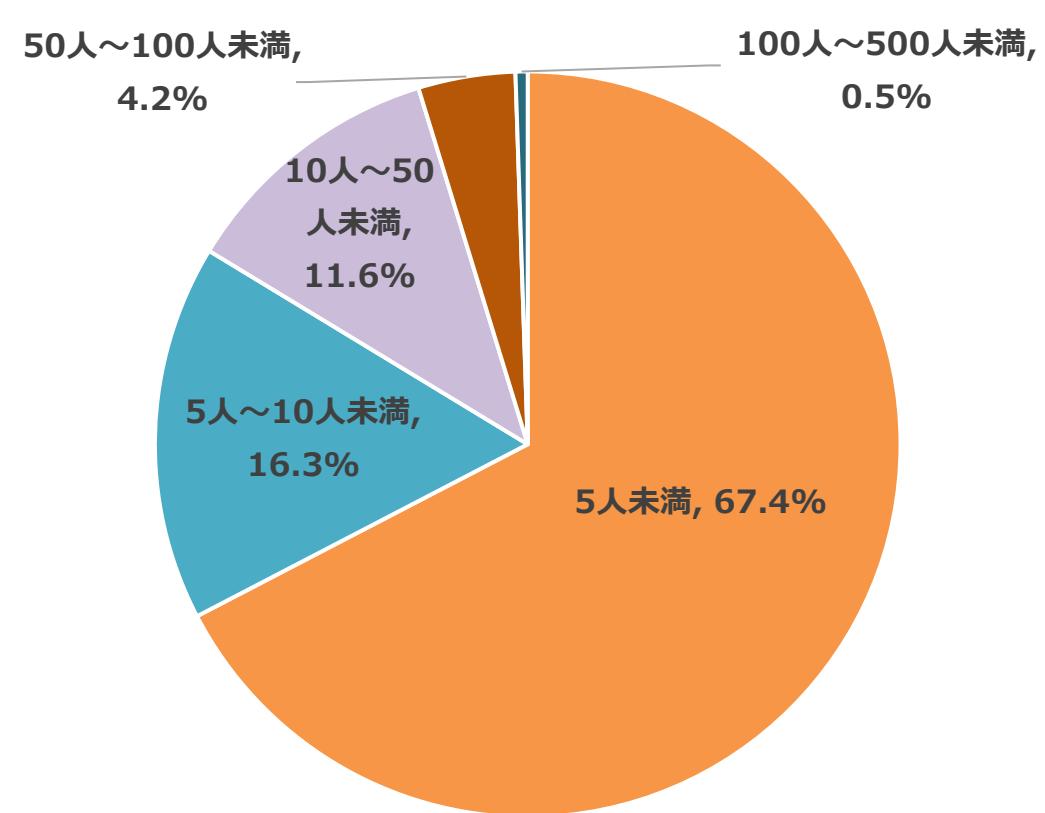


Q. 貴社の従業員数

(役員含む。非常勤従業員は0.5人など常勤換算してください。  
おおよそで構いません。)

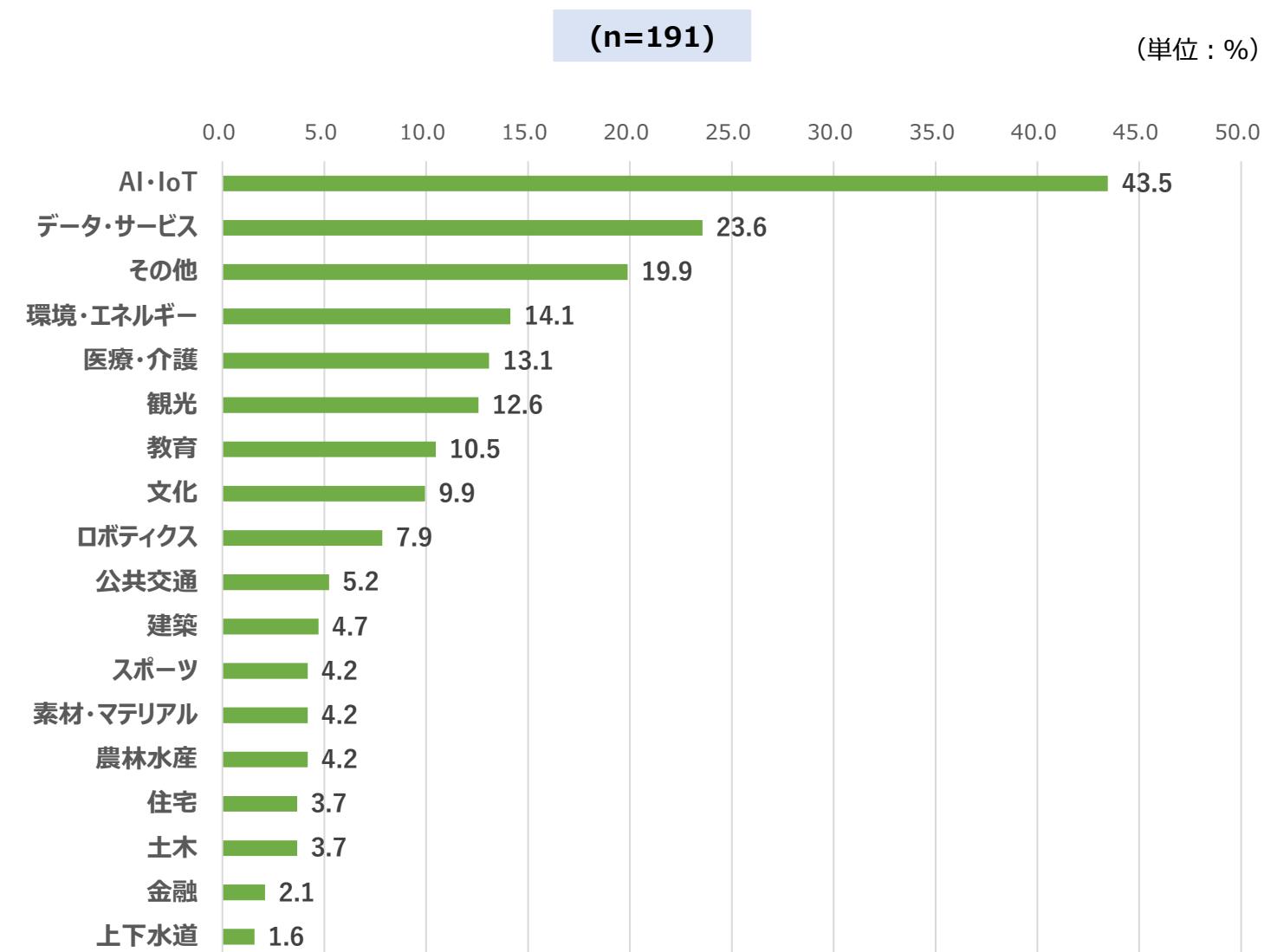
(n=190)

(単位 : %)



# 回答者属性

Q. 貴社の事業領域（複数選択可）



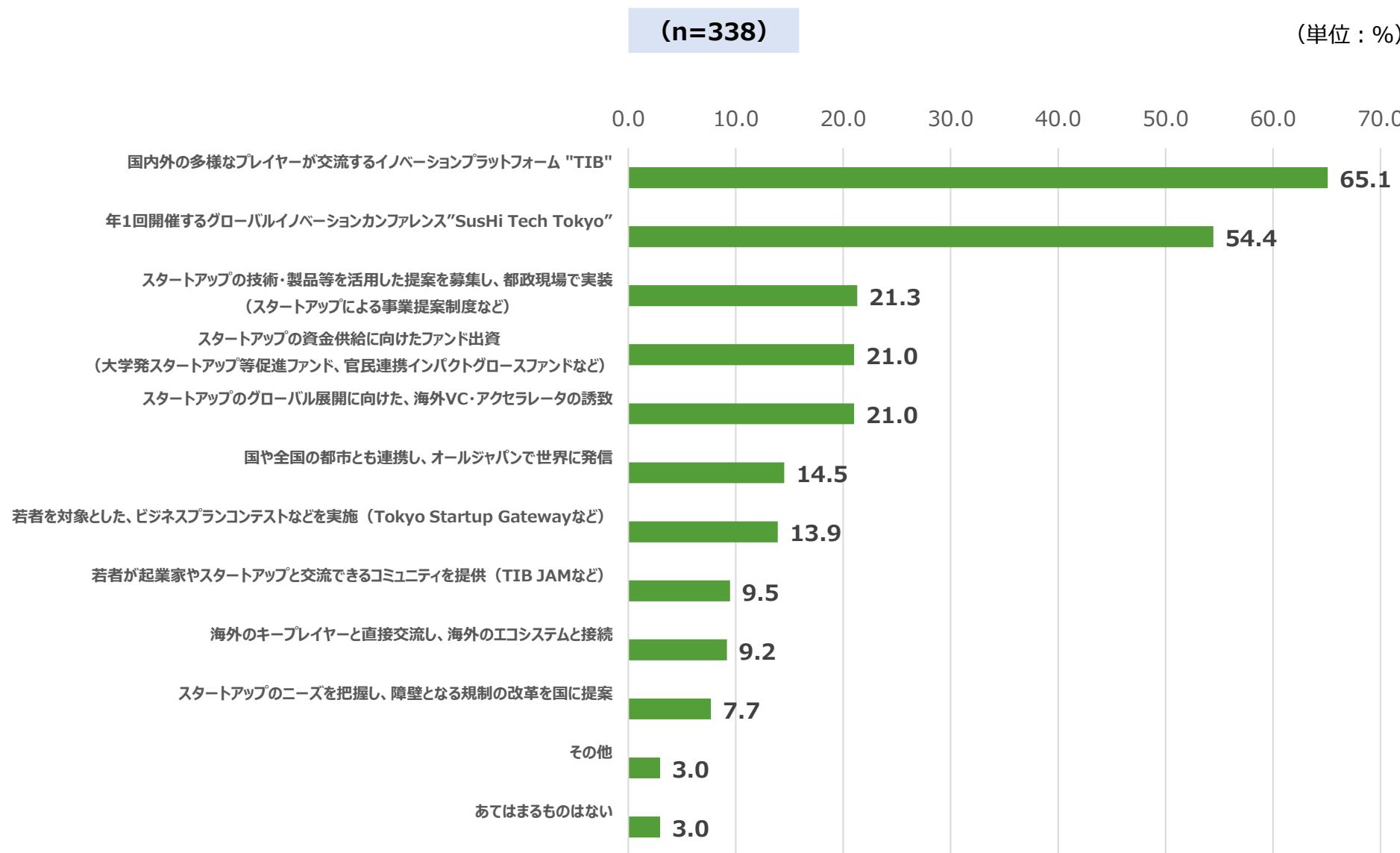
その他の主な回答

記述回答
量子コンピューター
物流
福祉機器開発
ヘルスケア（未病、予防、健康増進）
妊娠、出産、子育て
DEI（女性活躍、男性の家庭参画促進）
食品製造、流通
気候変動・サステナビリティ・防災
小売
人材採用支援コンサルティング
事業支援コンサルティング
私立私営民間学童
広告

# （1）東京都のスタートアップ戦略について

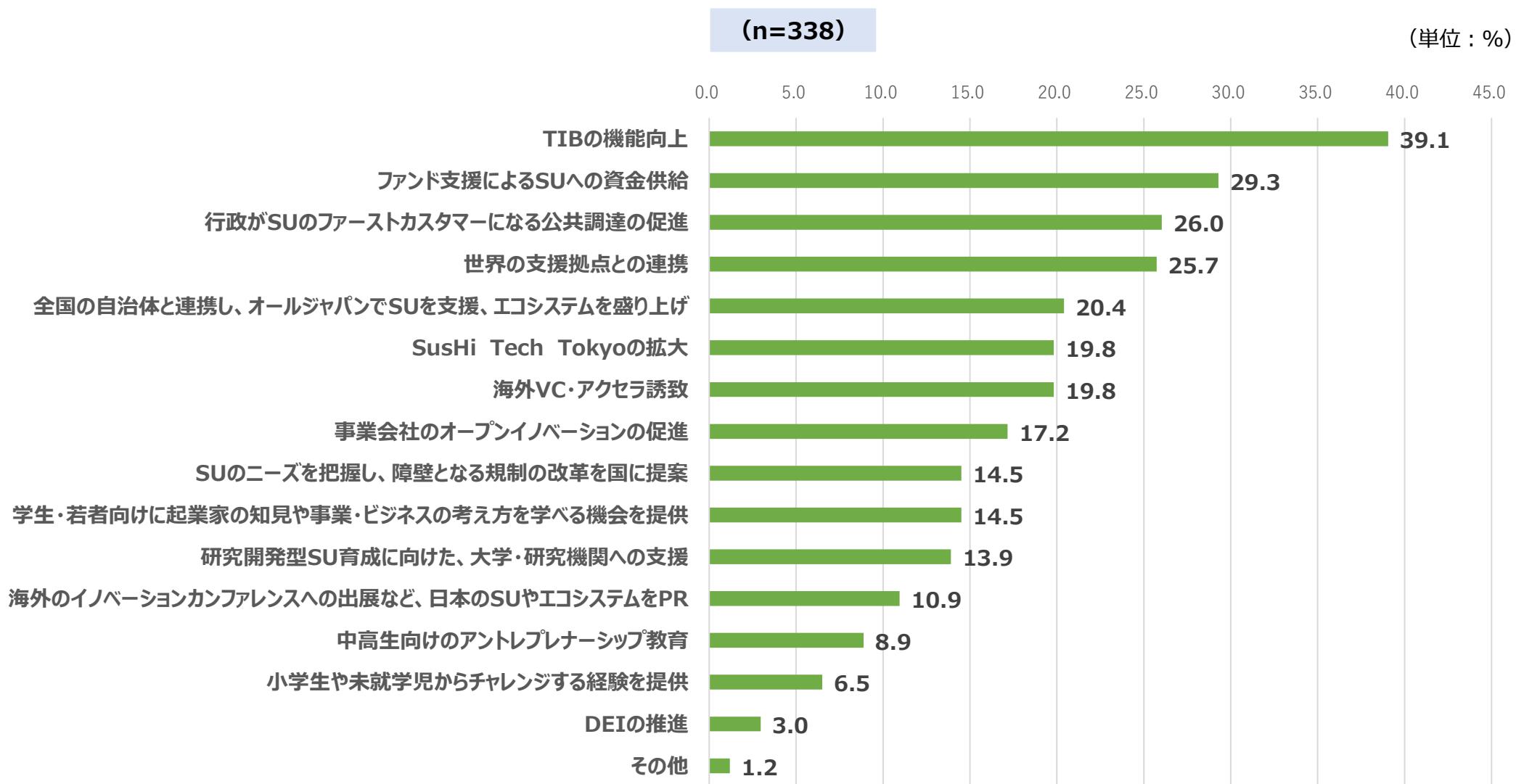
# 特に評価できる取組

Q1 都は、スタートアップ戦略「Global Innovation with STARTUPS」を2022年11月に公表し、取組を進めてきました。これまで進めてきた中で、どの取組が特に評価できると考えますか。以下のの中から3つまで選択してください。



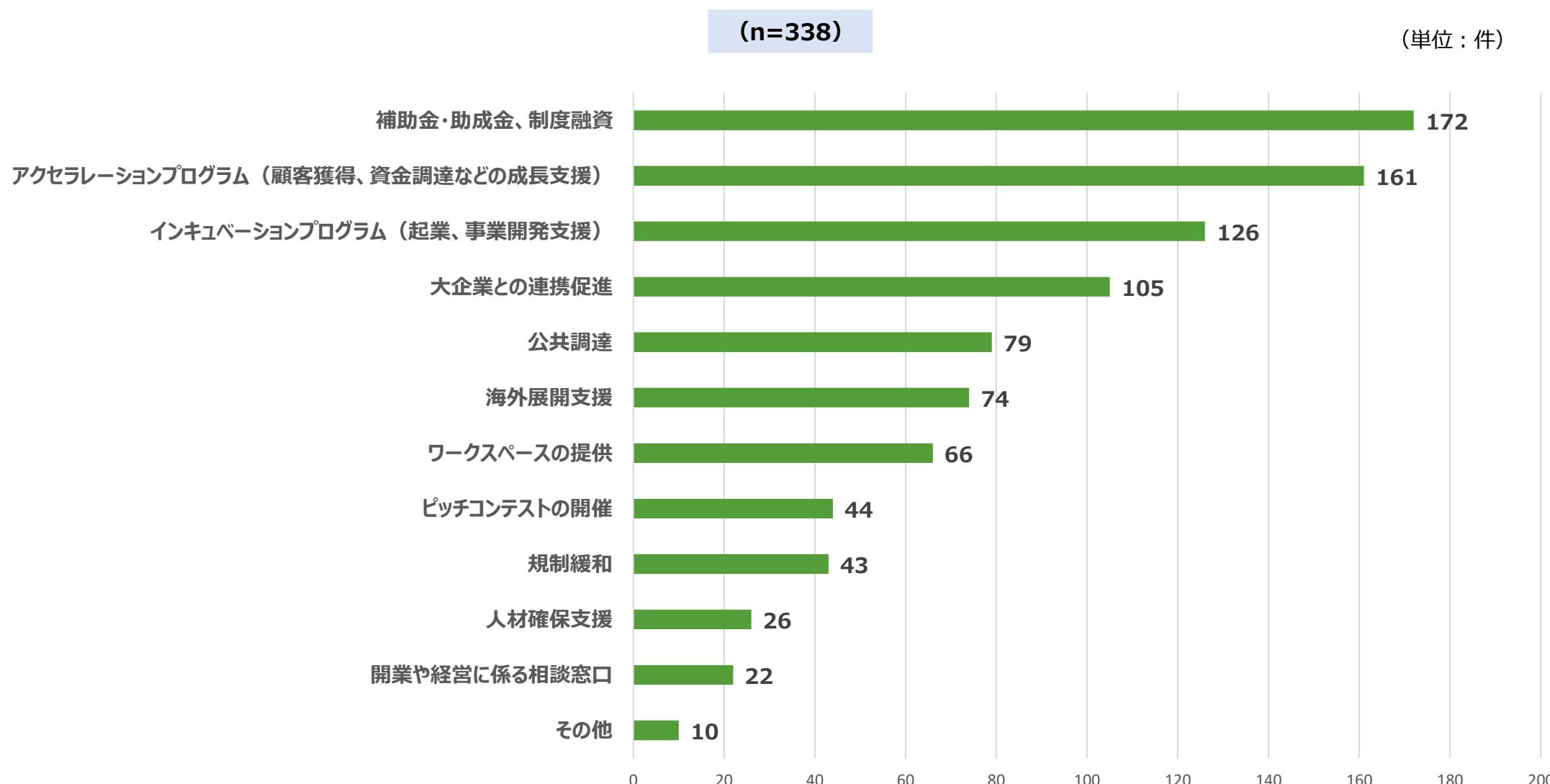
# 今後の都のスタートアップ施策の方向性

Q2 今後の都のスタートアップ施策の方向性について、重要だと思うものを以下の中から3つまで選択してください



# スタートアップ支援策として、特に都に期待する内容

Q3 スタートアップ支援策として、特に都に期待する内容を以下の中から3つまで選択してください。



# スタートアップ支援策として、特に都に期待する内容

Q3 スタートアップ支援策として、特に都に期待する内容を以下の中から3つまで選択してください。

その他の回答

## 記述回答

仕事が生まれる接点をうみだすようなもの(投資を生み出すものは多いと認識している)

研究シーズの事業化に向けた開発の支援（支援を行うプレイヤーの支援）

スタートアップを甘やかすだけでなく、ガバナンスの教育・啓蒙も期待したい

スタートアップの成長に必要な要素を本質的に知っている人を増やすこと  
特に組織領域においては形骸化しているようにみえる

大型ハードウェアの実証ができるような場所の提供

全国自治体との連携 2件

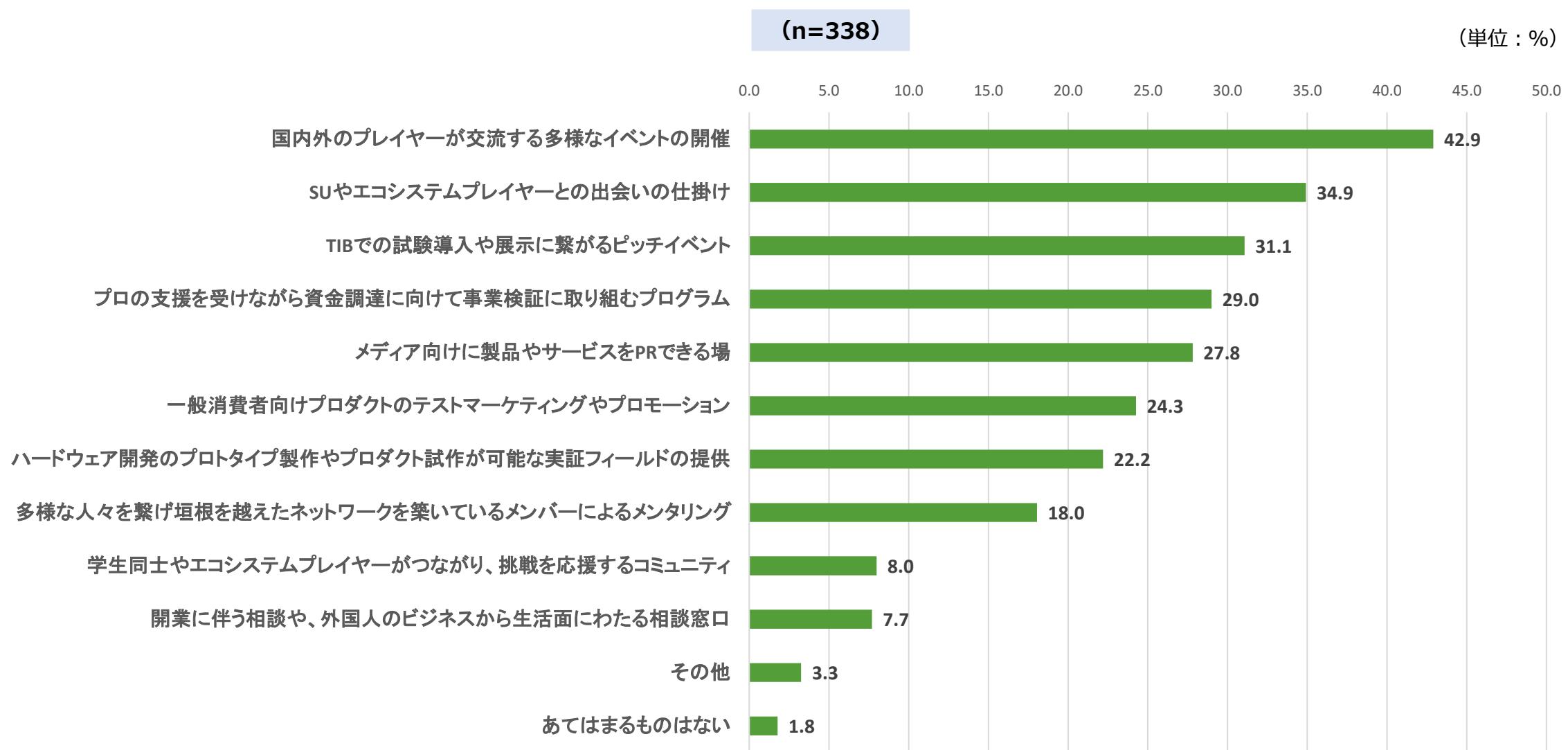
賞金付きハッカソンの開催

海外SUの誘致

VISA取得支援などへの相談、支援

# TIBにおいて進めてほしいこと

Q4 TIBにおいて、今後さらに進めてほしいことを以下の中から3つまで選択してください。



# TIBにおいて進めてほしいこと

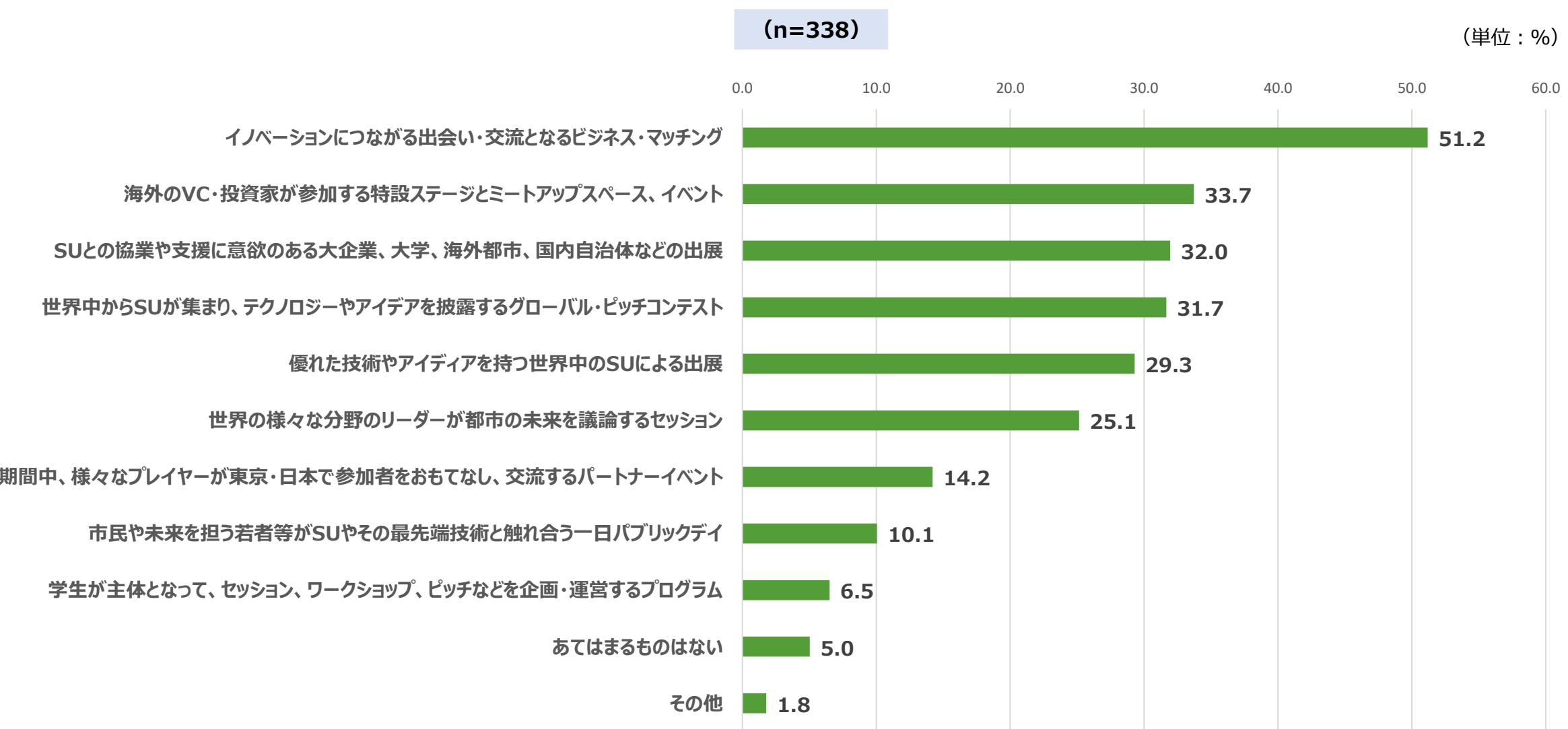
Q4 TIBにおいて、今後さらに進めてほしいことを以下の中から3つまで選択してください。

その他の回答

記述回答
全国自治体との連携
選択肢記載のすべての「スタートアップ支援策」を行なってほしい
研究シーズの事業化に向けた開発の支援（支援を行うプレイヤーの支援）
監督者として規制緩和を行うだけでなく、東京都の職員の業務改革による新技術の活用に期待したい
開館時間の前倒し
海外イベント・学会への出席のための資金支援
バイオや化学系のインキュベータ、スタートアップのプロダクトの顧客になって欲しい
TIBのネットワーク環境の向上、スタートアップを中心として真に必要なユーザーへの利用拡大、アプリの改善 (エラーや再登録などの利便性が悪い)

# SusHi Tech Tokyoにおいて進めてほしいこと

Q5 SusHi Tech Tokyoにおいて、今後さらに進めてほしいことを以下の中から3つまで選択してください。



# SusHi Tech Tokyoにおいて進めてほしいこと

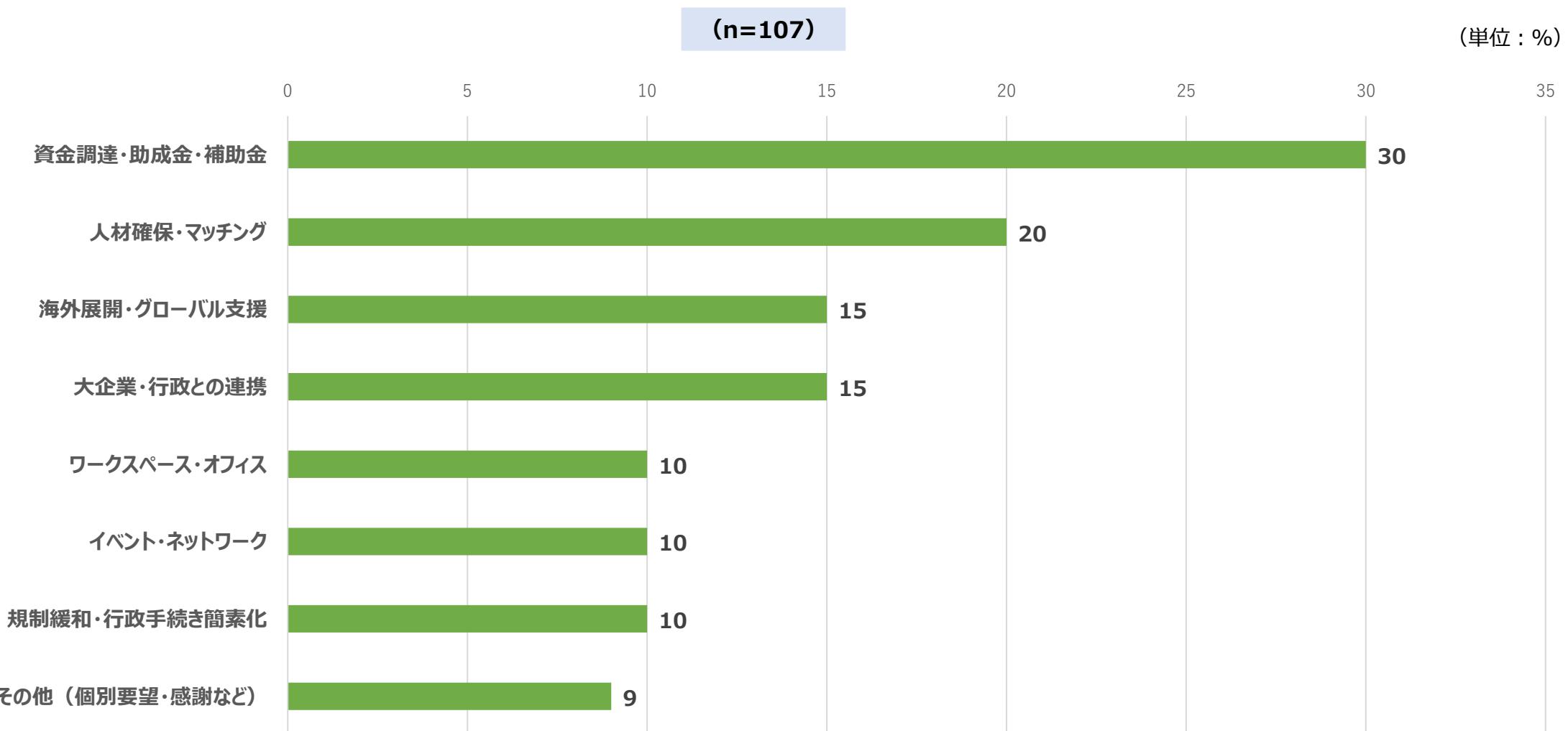
Q5 SusHi Tech Tokyoにおいて、今後さらに進めてほしいことを以下の中から3つまで選択してください。

その他の回答

記述回答
日本のCVCと海外スタートアップのマッチング
全国自治体との連携
サイドイベント200以上は必要。メインイベントじゃ交流が生まれない
グローバルに通用するイベント名称（海外在住の日本人（VC）ですら寿司関連イベントと認識していた）

# スタートアップ支援策として、都に要望する内容

Q6 スタートアップ施策として都に要望することをご自由にお書きください。



# スタートアップ支援策として、都に要望する内容

Q6 スタートアップ施策として都に要望することをご自由にお書きください。

主な回答 (1/2)

記述回答
資金調達につながる様々なイベント、ハッカソン、アクセラプログラムなどを、頻度を上げて開催してほしい
都での実績を国内他自治体に連携できるような取り組みを期待している（東京都ファーストカスタマー・アライアンスの強化）
定量的な効果測定を行い、結果を公表して継続的に改善できる施策にして欲しい
都は単なる一自治体ではなく、全国自治体とのハブとなる立場であるため、全国への事業者サービス導入のハブとなる立ち位置を期待
大企業との接点の場をもっと作って欲しい
世界のVCと繋がりたい、世界との関係構築に向けより良いアドバイスを頂きたい
少額減価償却資産の特例の延長やスタートアップにおける類似する特例の作成など
活躍の場が限定されてしまっている女性やこれから起業したいと考えている若者～シニア層の人材、起業家を上手くマッチングさせてほしい
他業種との交流する機会を作っていくので属性がマッチしそうな人たちに特化したイベントを開いてほしい
スタートアップ＝エクイティ調達ではなく、融資の窓口も強化してほしい

# スタートアップ支援策として、都に要望する内容

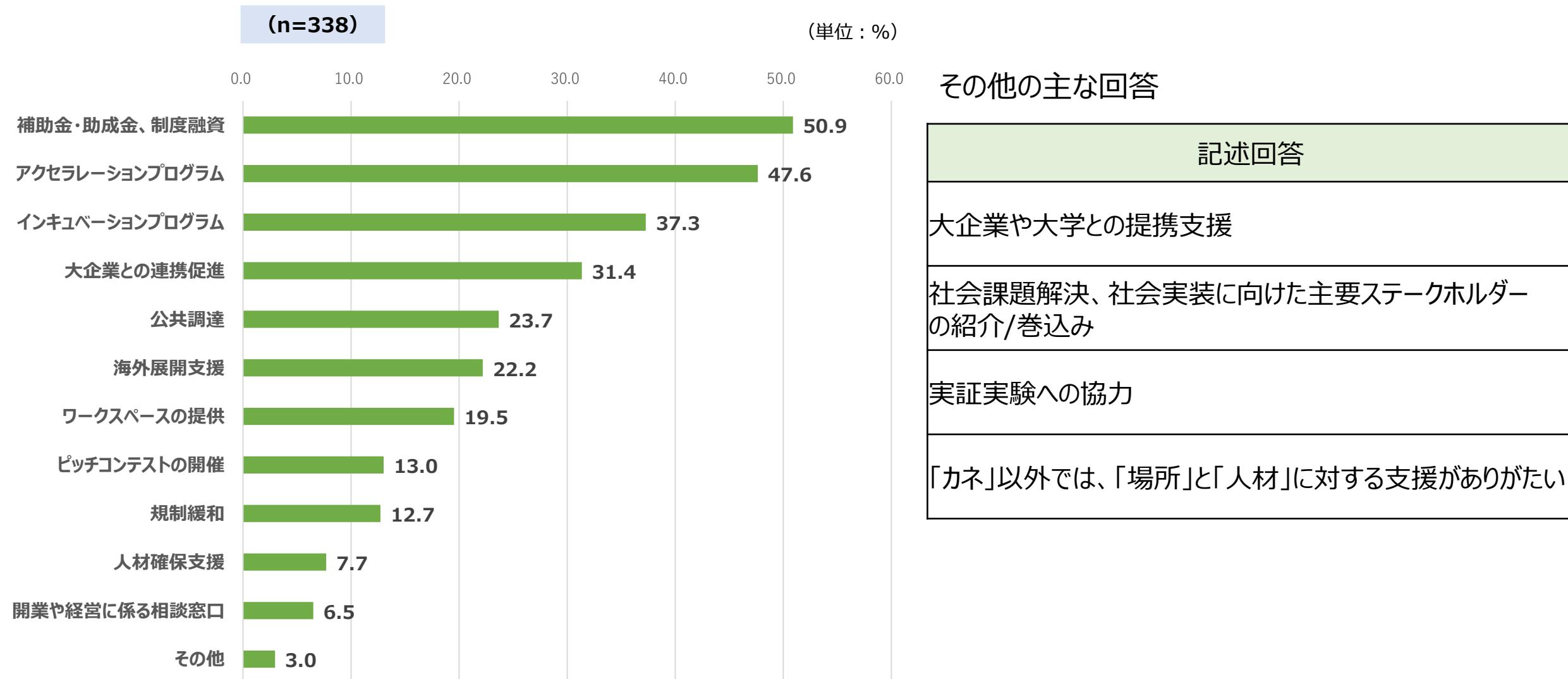
Q6 スタートアップ施策として都に要望することをご自由にお書きください。

主な回答 (2/2)

記述回答
環境・グリーン領域のディープテックスタートアップのシード期には、研究開発助成資金と実証フィールドが必要
各種申請書類は極力シンプルだと嬉しいです（時間が何よりも貴重なので）
海外展開支援プログラムの拡充
IT関連などを中心に公共部門へスタートアップからの調達を積極的に行い、その成果や内容を対外的にPRしていただきたい
エグジットの機会益をもっと欲しい。IPOやM&Aだけでなく、セカンダリーマーケットの拡大や支援をより一層強化してほしい
ハブ機能として、コワーキングスペースやパーソナルスペース拡大を期待します
ピッチイベントなどの情報がばらけているので、自身で調査して集めてくるのが非常に大変である、まとめてほしい
起業資金の融資・提供などの起業しやすい環境整備等起業支援の充実
基礎自治体が進めるスタートアップ施策に対する補助
AIの実験が簡単に出来るラボがあつたら良い。様々な大学の研究をどんどん実装でき、フラットに意見交換や情報交換ができると良い

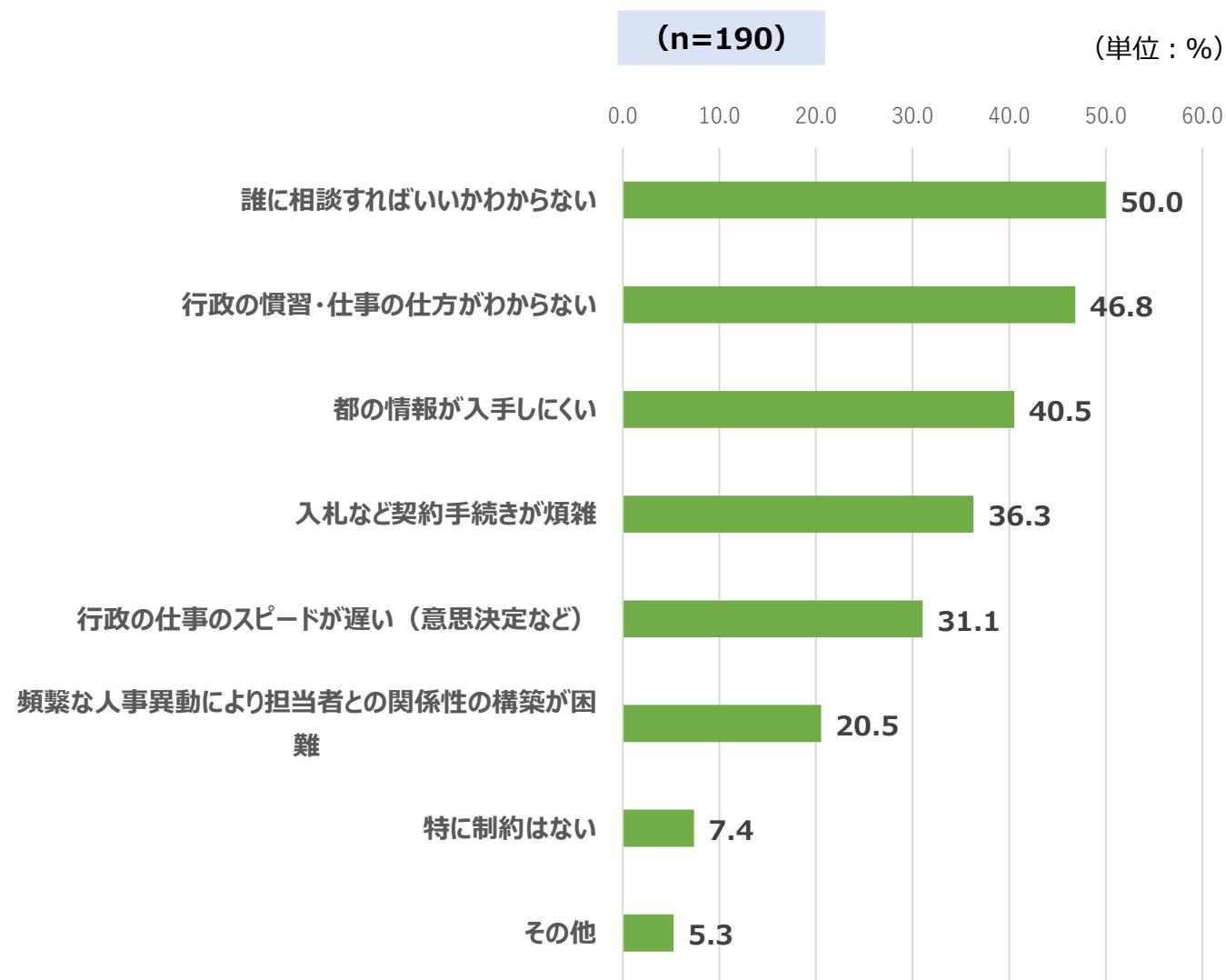
# 都と協働する場合に期待すること

Q7 都はスタートアップとの協働をこれまで以上に進めています。都と協働する場合、期待することを選択してください。  
(複数選択可)



# 都と協働する上で制約になること

Q8 貴社が都と協働する上で、制約になる（なっている）ことを選択してください。（複数選択可）



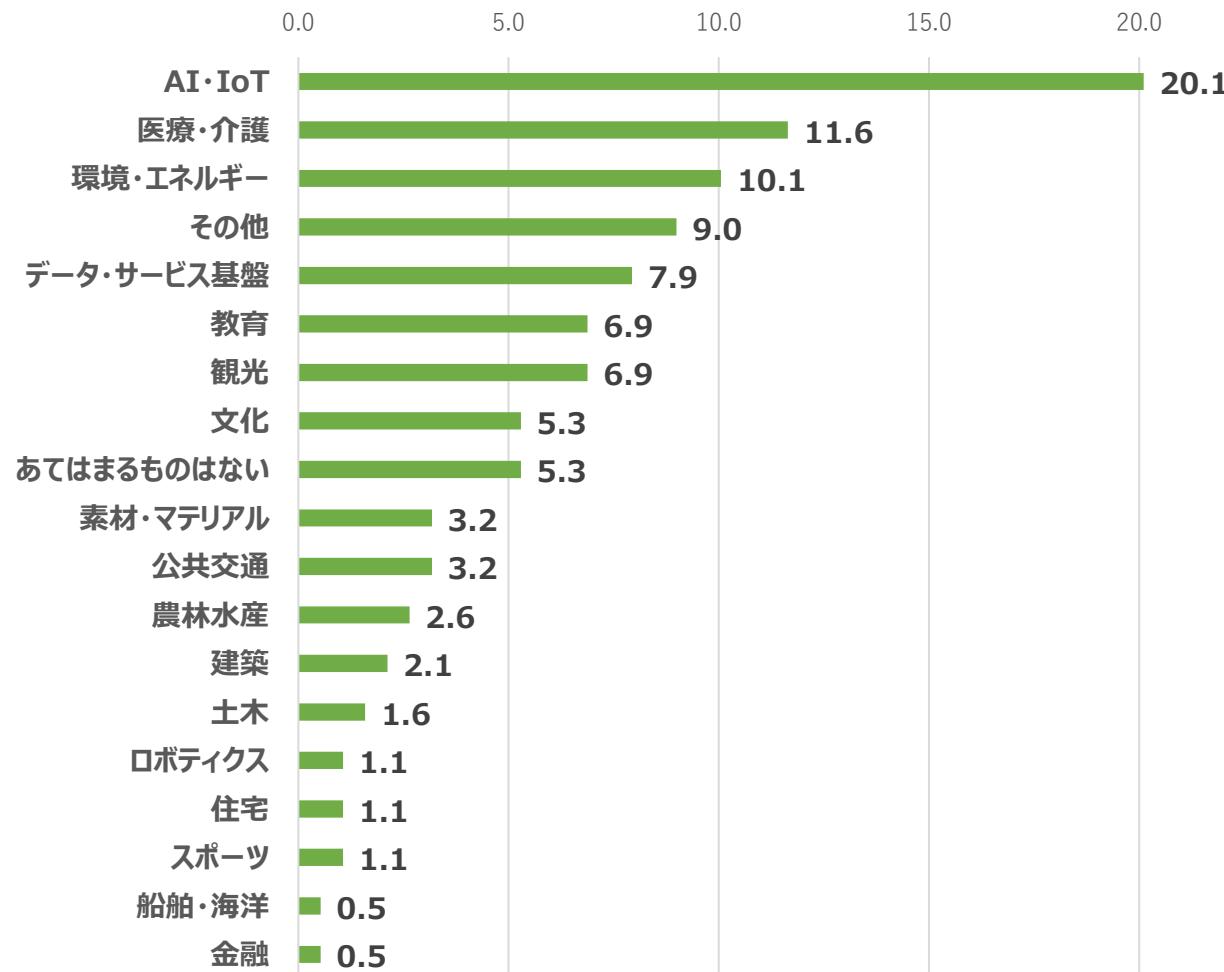
## その他の主な回答

記述回答
都の注力されているポイントがわかりにくい。またサポート内容や情報が、どこを見ればよいのかわからない
単年の取組になりがち
事務局の受託企業や参画のメンバーがエコシステム、スタートアップ（大手）企業のビジネスに対する理解、知識、経験がない
スタートアップ関連以外の部署に相談すると仕事が増えるので断られる。ちゃんと業績やkpiに入れ込んで欲しい
法人化したスタートアップが事業の道筋を描けるまでの最初の3年間を資金面でご支援いただきたい。現状、アクセラレーションプログラムやメンター制度など、支援機関によるサービスは充実している一方で、補助金などの資金的サポートが不足しているのが実情です。そのため、せっかくスタートアップとして法人化しても、資金繰りに行き詰まり、1年も持たずに倒産してしまうケースが少なくない
そもそもビザ関連で外国人による開業がまだ難しい

# 都と協働したい分野

Q9 都と、どのような分野で協働したいですか。

(n=189)



(単位 : %)

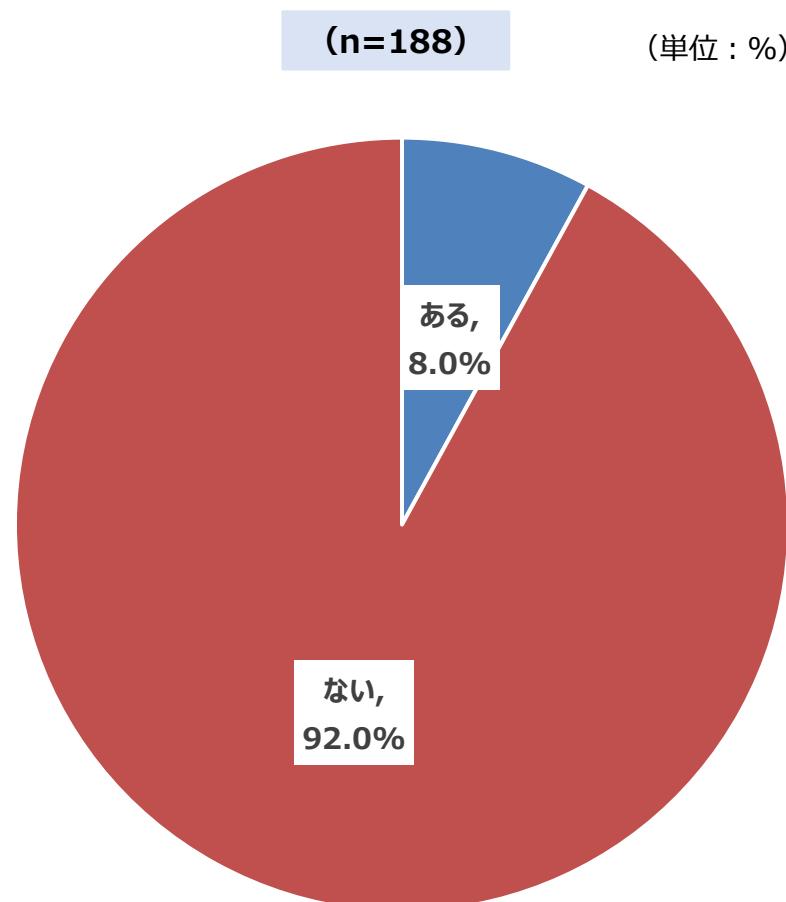
その他の主な回答

記述回答
未病、予防、健康増進、セルフケアセルフメディケーション
AIヘルステック
放課後の多様な学び
提供可能なソリューションが広範にわたるため、インフラ全般、ロボティクス、IoT、将来的にAI、広義ではスマートシティ
妊娠、出産、子育て支援、女性の健康支援
働き方
男性の家庭参画促進
人材
公共交通に関わらず移動（モビリティ）に関連するあらゆる分野（ごみ収集、物流、観光交通、データシミュレーション、等）
海外展開支援 食関連
スマートインクルーシブシティ、共生DX、合理的配慮、インクルーシブ防災
サステナビリティ全般

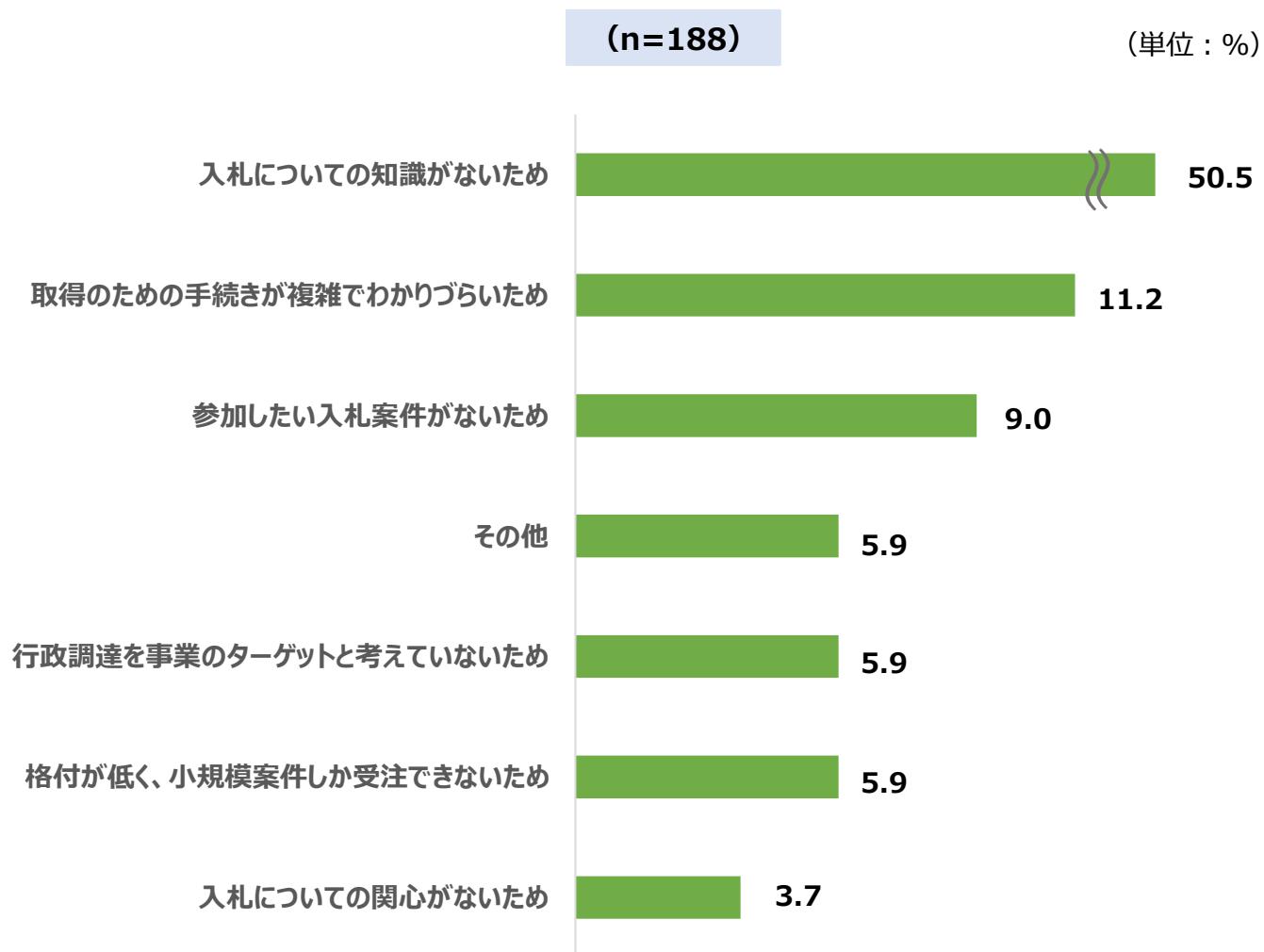
## (2) 都への入札参加について

# 都の入札参加取得の有無と入札参加資格を取得しない理由

Q10 都は、スタートアップのファーストカスタマーとして公共調達の拡大を目指しています。貴社は、都の入札参加資格を取得したことありますか。



Q11 都の入札参加資格を取得しない理由を教えてください。



# 都の入札参加資格を取得しない理由

Q11 都の入札参加資格を取得しない理由を教えてください。

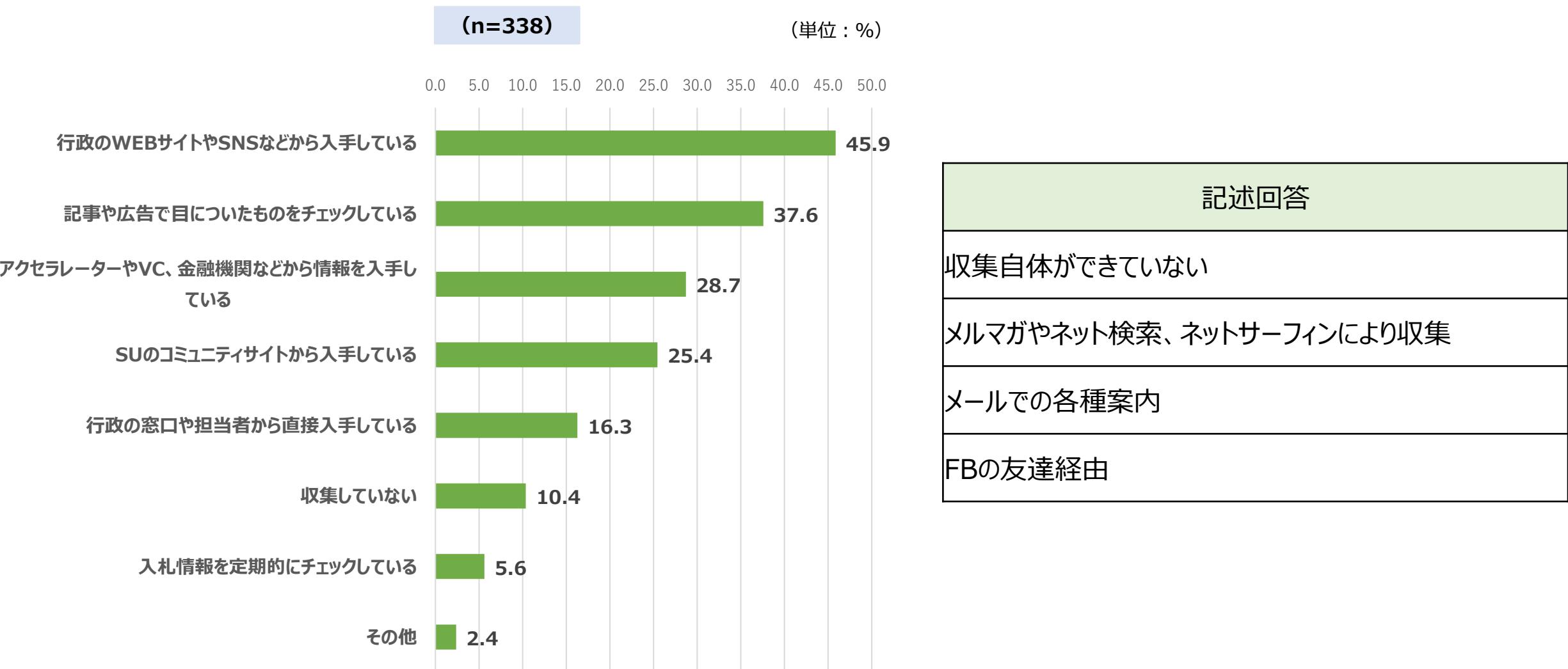
その他の回答

記述回答
担当者ではないため
書類作成に割ける時間がまだない
初めてで知らなかった
取得しようとしているが、どれに該当するのかがわかりにくい。特に用語のなじみがなく、スタートアップ向けの相談窓口があつてほしい。
参加資格を取得したい
公共調達の拡大をしたいが、まだ着手できていなかった。今後ぜひ挑戦したい。
現段階ではそのフェーズではないため
興味があるがまだ進めることが出来ていない
過去に中小企業新興公社の入札に参加させていただいたこともありますが、難易度が高いとも感じました。
まだ起業前であるため
まだそのステージではないため

### （3）行政のスタートアップ向けイベントや施策の情報収集について

# 行政のスタートアップ向けイベントや施策についての情報入手方法

Q12 都は、様々な支援策を実施していますが、スタートアップ向けの支援情報をどのように入手していますか。（複数選択可）

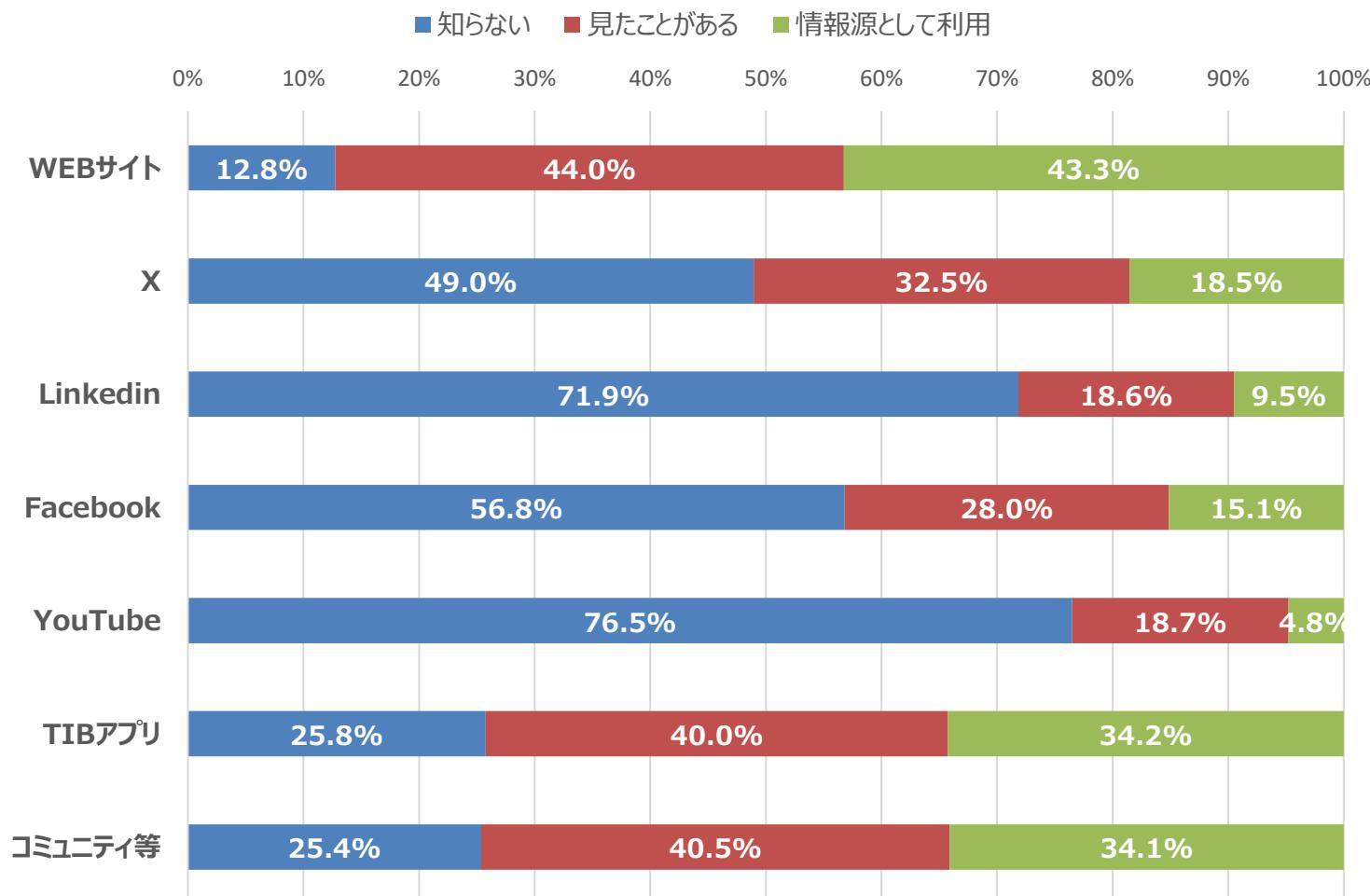


# 発信媒体それぞの認知、利用状況

Q13 都では、スタートアップ向けイベントや施策の情報をWEBサイト（都やTIBホームページほか）、SNS（都やTIB、SusHi Tech公式アカウント、個人アカウントなど）などを通じて発信しています。それぞれの認知、利用状況について、当てはまるものを1つ選んでください。

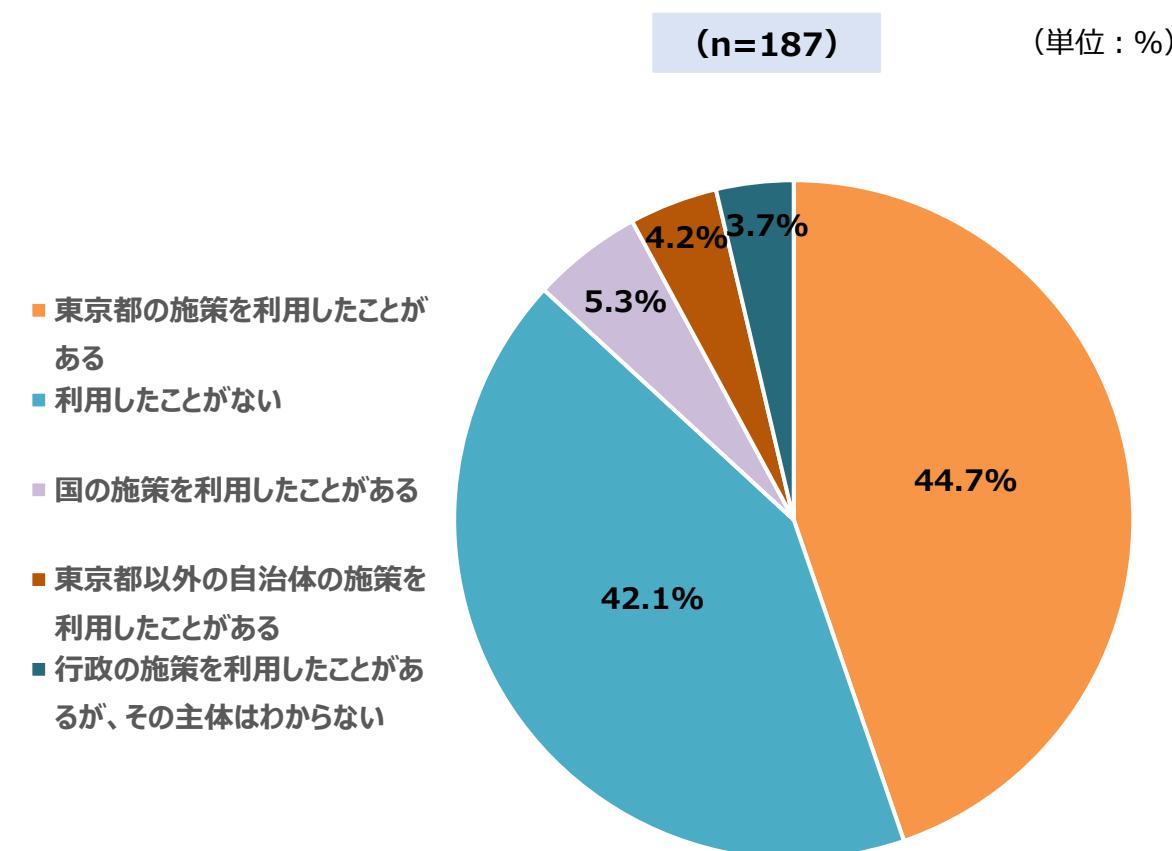
(n=317)

(単位：%)

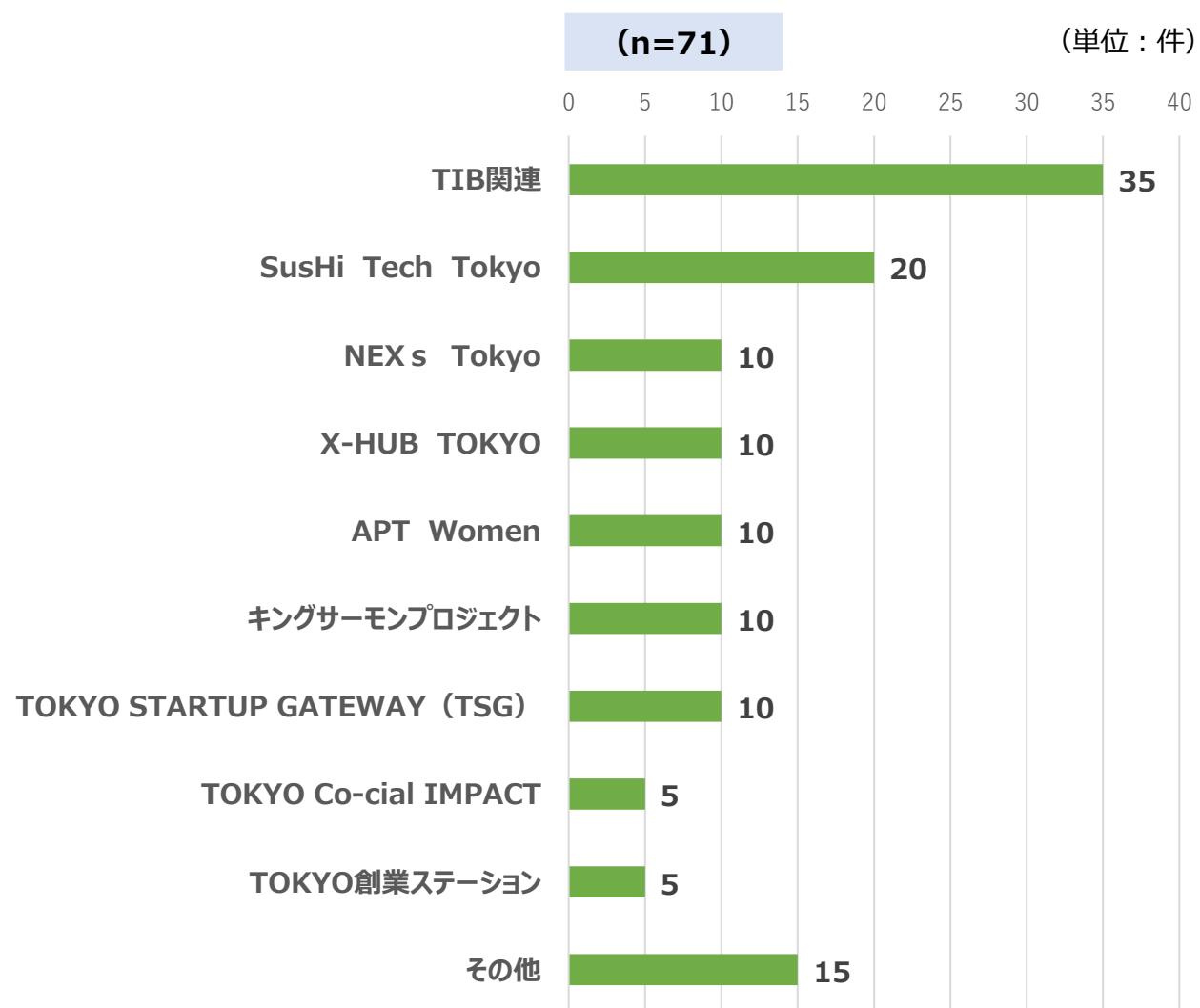


# 行政施策の利用状況

Q14 これまで行政の施策を利用したことはありますか。  
利用状況について以下より1つ選んでください。



Q15 これまで利用した行政の事業名（プログラム名）を  
お書きください。（任意）



# 行政施策の利用状況

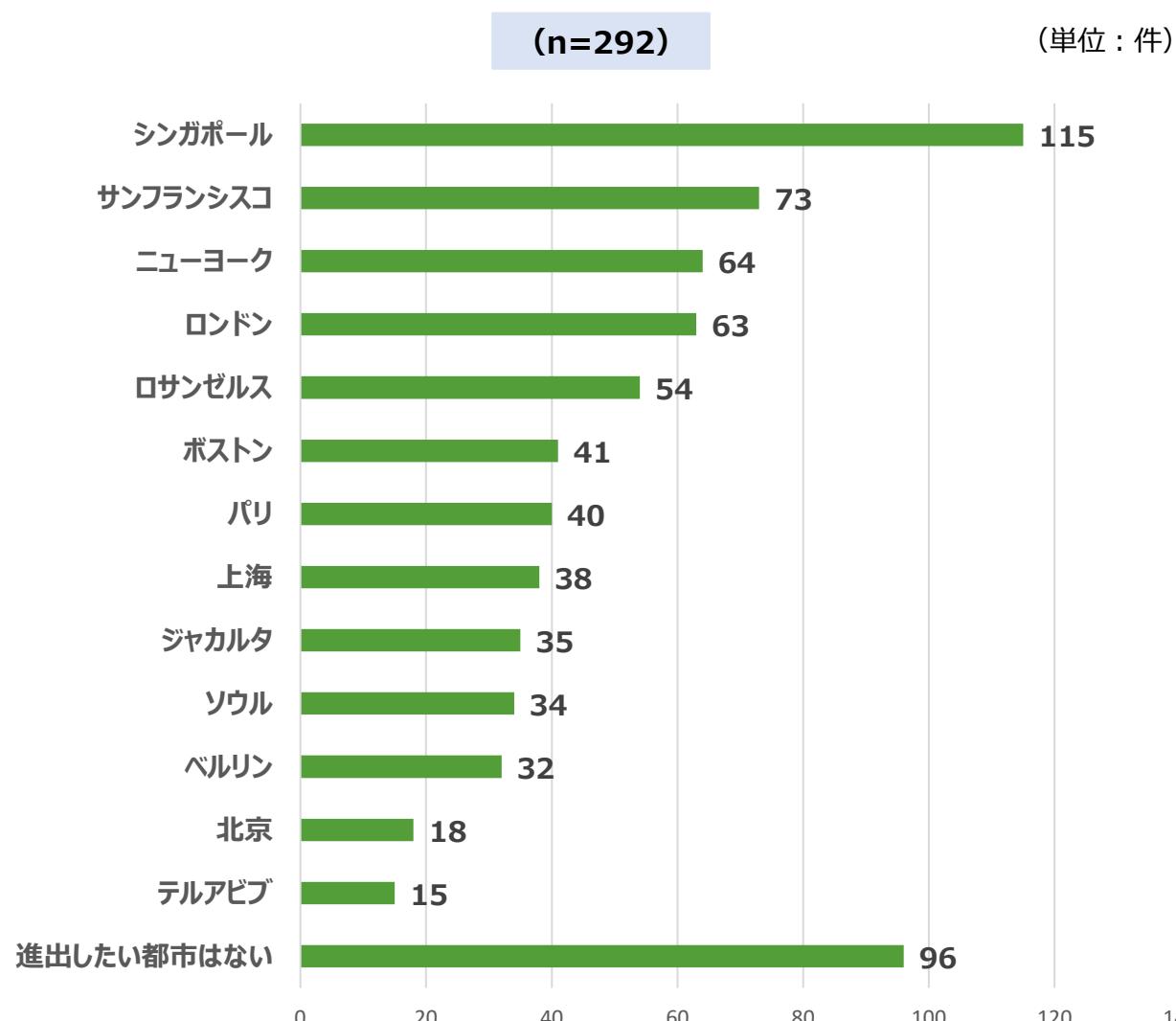
Q15 これまで利用した行政の事業名（プログラム名）をお書きください。（任意）

NEXs Tokyo	TIB
X-HUB Tokyo	TIB STUDIO
TOKYO UPGRADE SQUARE	TIB PITCH
TOKYO STARTUP GATEWAY	TIB FAB
SusHi Tech Tokyo (City Tech Tokyo)	TIB FAB Makers Challenge
キングサーモンプロジェクト	AMED
現場対話型スタートアップ協働プロジェクト	SBIR
青山スタートアップアクセラレーションセンター	Fukushima Tech Createビジネスアイデア事業化
DX推進実証実験プロジェクト	DX Scrum Team PJT
多摩イノベーションエコシステム促進事業	Global Xpander Tokyo
APT Women	米国大使館の女性起業家育成プログラム
TOKYO創業ステーション	府中市共創実証実験
TOKYO Co-cial IMPACT	東京都におけるイノベーション・エコシステム形成促進支援事業
東京ベイeSG先行プログラム	渋谷区特定創業者支援事業
TOSBEC	中小企業省力化投資補助金
スタートアップ・エコシステム 東京コンソーシアム	経済産業省 商業・サービス競争力強化連携支援事業費補助金
TOKYO SUTEAM Link-J主催「UNIKORN」プログラム	経済産業省 始動プログラム2022, 2023, 2025
創業助成金（東京都中小企業振興公社）	医療機器開発イノベーション人材育成プログラム
東京都こどもスマイルムーブメント	女性起業ゼミ
先端医療機器アクセラレーションプログラム(AMDAP)	ひろしまAIサンドボックス
スマートインクルーシブシティ実現プロジェクト	神奈川県SHINみなとみらい
ネイバースクール世田谷	神戸市の誘致プログラム
Be Smart Tokyo	

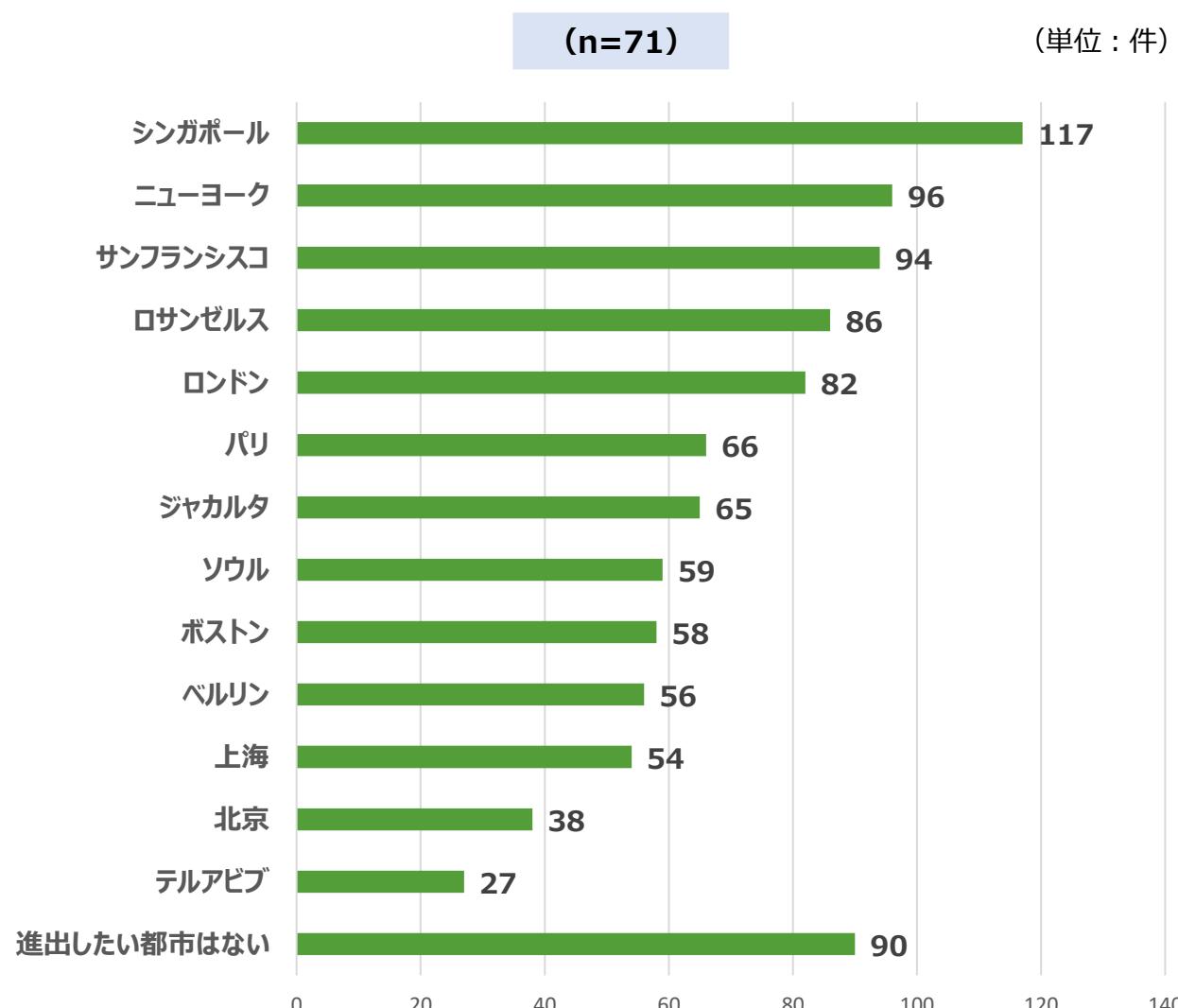
## (4) 海外進出について

# 進出したい海外都市

Q16 拠点を置きたいと思う都市（既に設置している方は  
拠点のある都市）を選んでください。（複数選択可）



Q17 事業展開したいと思う都市（既に展開している方は  
その都市）を選んでください。（複数選択可）



# 海外進出の課題

Q18 海外に進出する際の課題があれば記載ください。（任意）

主な回答

記述回答	
国の商習慣、法規制	文化の壁やコネクションがなく、やりたいと思った事を実現する時にアプローチ先がわからない
言語	
販路・商流の確保	
伴走者がいない	
知識経験がない 相談窓口がわからない	
現地のネットワーク不足、事業展開コスト	
現地のインフラシステム・法律関係の事情の調査	
英語面での契約手続きや行政サポート	
現地パートナー開拓	
現地の市場情報、キーパーソンとの接点	
活動拠点とそこに滞在する人材の生活拠点	
商習慣やプライシング、IPの取得	
現地ネットワークへの入り込み（現地日本人ネットワークではなく、ローカルのインサイダー	
資金調達	
資金、人材リソースの不足	
VISAや情報規制、円安などでハードルが一段と高くなっている	
会社にとっての意義付け	

## (5) その他

# 事業を成長させる上での課題

Q19 事業を成長させる上での課題は何ですか。

